

地域コミュニティの充実について

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第7回の今日は、「地域コミュニティの充実」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 地域コミュニティの充実について、市が特に力をいれている取り組みを教えてください。

市長： 地域の課題は地域で考え、話し合いで解決していくことを目的として「地域コミュニティ連絡会」を各小学校区単位で行っております。

アナ： 「地域コミュニティ連絡会」とはどのような会議ですか。

市長： この会議は、自治会長や民生委員、PTAや消防団など、地域の各団体のリーダーの皆さんに集まっていただき、各地域の課題について話し合いをしていただくものです。平成27年度までは各地域においてどのような課題があるのかを話し合い、平成28年度はそれらの課題解決に向けて具体的に何をしたらよいかという話し合いの結果をまとめた「きずながつくる協働の取り組み計画（案）」を各地域ごとに作成しました。

アナ： 地域で抱える課題というと、具体的にはどのようなことが挙げられたのですか。

市長： まず少子高齢化問題では、一人暮らしの高齢者が増えているが老人会などに入らない場合は会話の機会がなく孤立してしまうことや、子どもの数が減って子ども会が解散してしまう自治会が増えていることなど、各世代にわたって地域での交流の場が少なくなり、絆が大変弱くなってしまっていることが、各校区共通の課題として挙げられました。

アナ： そういった課題を踏まえて「きずながつくる協働の取り組み計画（案）」を作成したということですね。校区ごとの「取り組み計画（案）」を知りたいのですが、情報発信はしていますか。

市長： 広報みしま2月15日号で、各校区の計画（案）のキャッチフレーズと具体的な取り組みの一部を掲載したところですが、詳しくは市のホームページ内「きずながつくる協働取り組み計画（案）」で公開しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思えます。

今年度の連絡会では、計画（案）の中で出来るところから実際に行動していただく予定としていますが、将来的には、地域の課題を出し合い解決する取り組みを地域の皆さんが自主的に運営し推進する「地域コミュニティ協議会」を設立していただきたいと考えております。

アナ： 地域で自主的に運営する「地域コミュニティ協議会」が実際に立ち上がっている校区はあるのでしょうか。

市長： 平成 27 年度に東小学校区で、平成 28 年度には西小学校区で「協議会」が設立されています。

アナ： 協議会は、どのような方々で構成され、どのような活動を行っているのでしょうか。

市長： 各小学校区の自治会や老人会、PTA や子供会、商店会、消防団など多く団体で構成されています。連絡会は年 2 回の開催ですが、協議会では回数を増やし、地域の課題や解決策について、より多く話し合いをしており、東小校区では、かねてからの懸案であった児童の安全に対して、協議会として防犯パトロールをしていくこととなりました。

アナ： 「地域コミュニティ協議会」は各小学校区の主催になるということですが、設立や運営の方法がわからず躊躇されている人もいます。市は何らかの支援をしているのでしょうか。

市長： 市では、会議の運営費を補助する制度があり、また、会議を行う人の負担を軽減するために会議運営のサポートをする「地域づくりコーディネーター」を養成して派遣する制度も設けておりますので、ぜひご活用ください。

アナ： 各小学校区が主催する「地域コミュニティ協議会」が、さらに増えることを期待したいと思います。そして、いよいよ今年度も「地域コミュニティ連絡会」がこの 5 月から始まると伺いました。

市長： 今月 23 日の錦田小学校区を皮切りに、7 月 27 日まで、各小学校区で順次開催していきます。協議会が設立されている西小学校区ではすでに総会が終了し、東小学校区では 6 月に総会が開催される予定です。

アナ： 今月の「広報みしま 5 月 1 日号」や市のホームページに「地域コミュニティ連絡会」の開催日時と場所が掲載されていると聞きましたので、私も地域の一人として傍聴し、地域のために自分ができることを考えていきたいと思っています。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。